No. 2308-T2861001

ハイエース　モデリスタ　バージョンⅠ

フロントスポイラー　取付要領書

設定型式：TRH20##、KDH20##、GDH20##　設定グレード：バン・標準ボディ

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**フロントスポイラー**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

■取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
■商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■車両へ商品を取り付ける際は、左右１名づつ２名で作業を行なって下さい。
■エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
■両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**
(PACﾌﾟﾗｲﾏｰN200を本品に添付)
重要　プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で１０分間以上放置し乾燥させて下さい。**
重要　■両面テープは、外気温が**２０℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
■両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)等で完全に拭き取って下さい。
■**ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を充分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)等で脱脂をきちんと行なって下さい。
重要　■**両面テープの圧着を充分に行なって下さい。４９Ｎ（５ｋｇｆ）**
重要　■フェンダーアーチ部等の**ビス本締めは両面テープ貼り付け後３時間以上放置後**行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

■**フロントスポイラー**が、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に圧着**されているか点検して下さい。
■取り付け完了後、**フロントスポイラー**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
■取り付け完了後、**最低２４時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
（両面テープの剥がれ、車両バンパーと**フロントスポイラー**との間に隙間が発生するおそれがあります。）

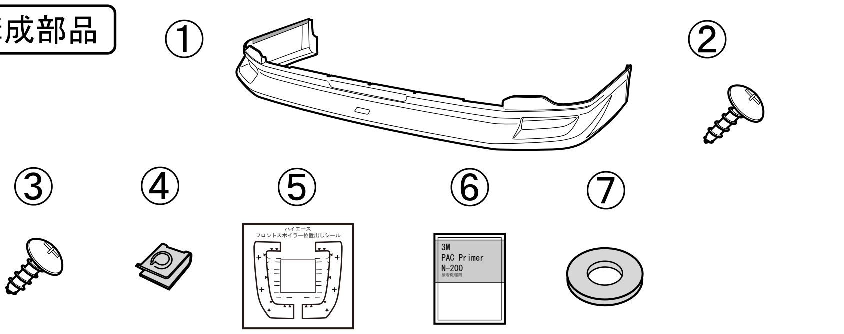
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

MODELLISTA

ハイエース モデリスタ バージョンⅠ

フロントスポイラー （品番：D2531-42520-XX）
（品番：MSD41-26007-XX/26008）

構成部品

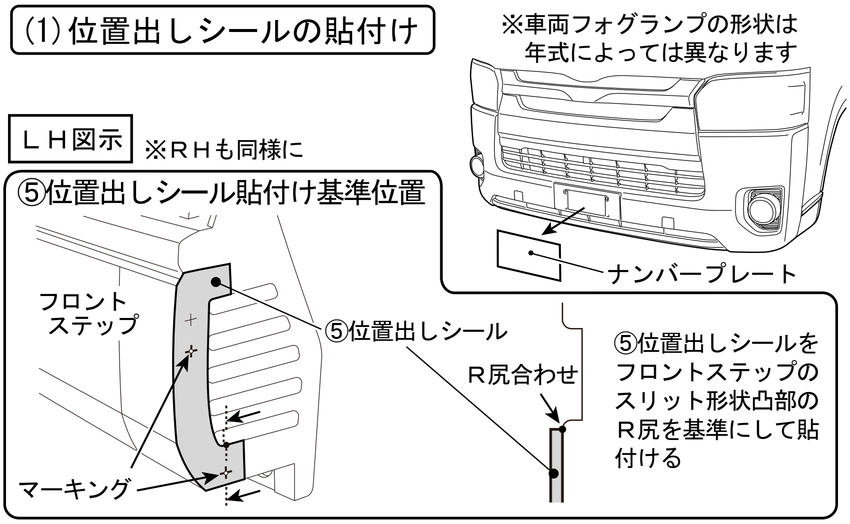


No.	品　　名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングスクリュー(M4×12)	4
③	タッピングスクリュー(M5×12)	2
④	Ｕナット(M5)	2
⑤	位置出しシール	1
⑥	PACプライマーＮ２００	1
⑦	ゴムワッシャー	2

⚠注意　モデリスタ　フロントグリル(D2533-42510)と同時装着の場合は
フロントグリルを必ず先に取り付けて下さい

取　付　手　順

(1)位置出しシールの貼付け

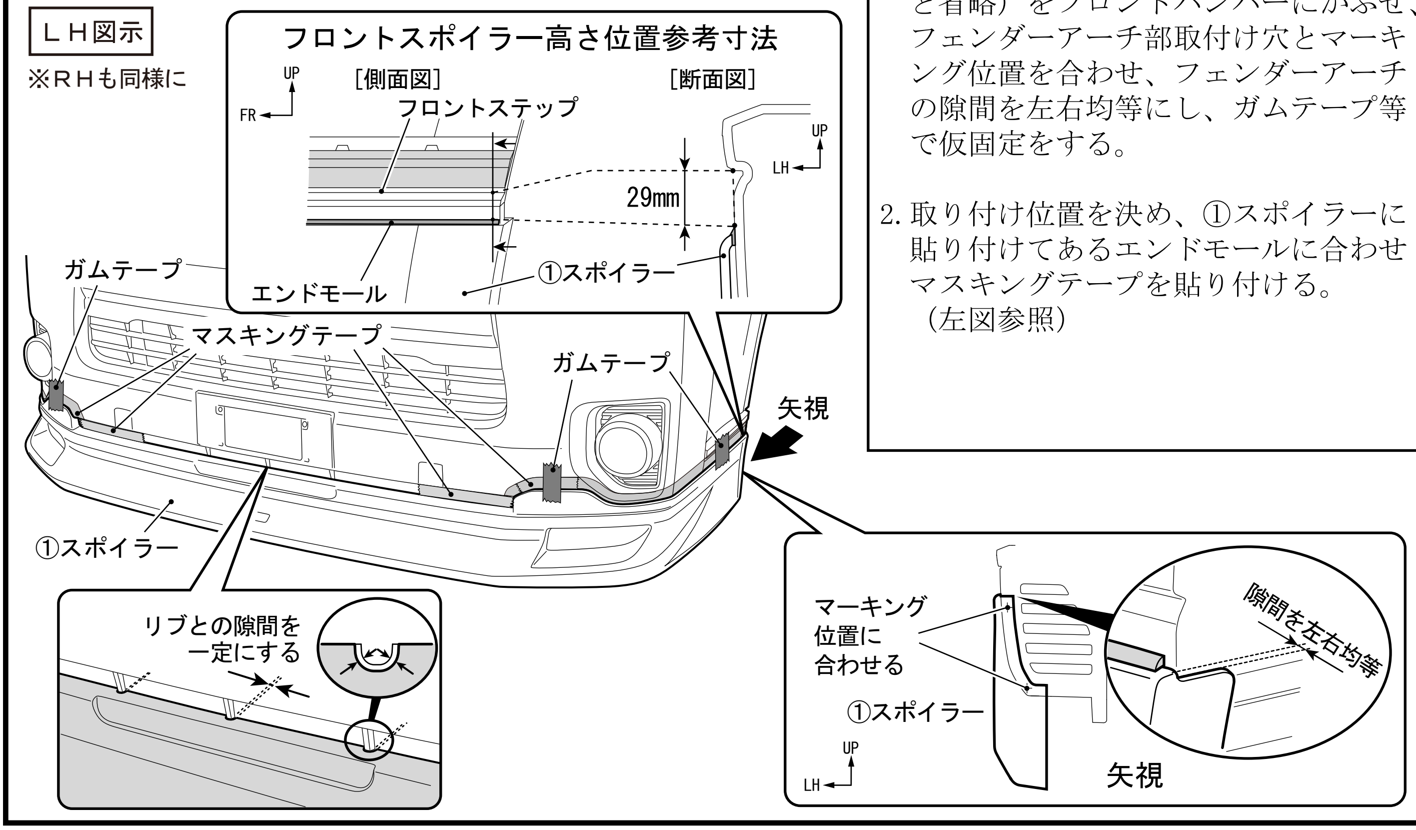


1. ナンバープレートを取り外す。
2. フェンダーアーチ部に⑤位置出しシールを貼付ける。（左図参照）

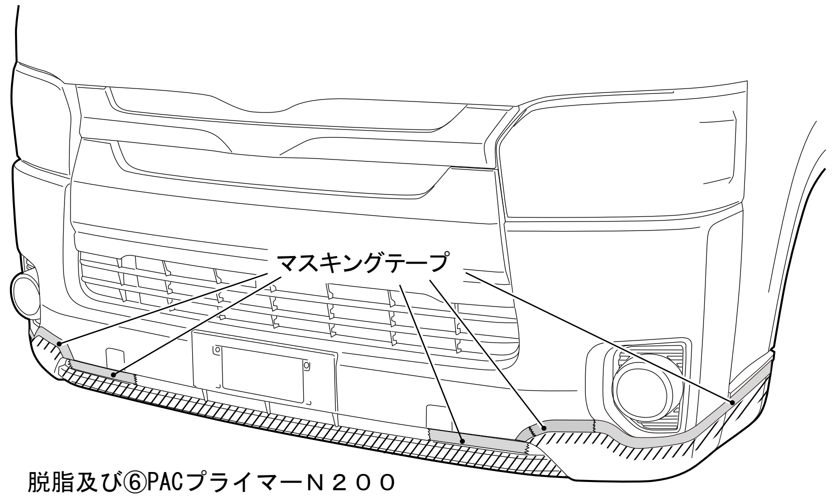
※バージョンⅠ(D2531-42510/42520-XX)
(MSD41-26005-XX/26006)
(MSD41-26007-XX/26008)
バージョンⅡ(D2531-42610-XX)
(MSD41-26001-XX/26002)
の品番違いによる穴位置の違いに注意して下さい。

3. ⑤位置出しシールの穴位置を確認し、取付穴位置をケガキ針ないしは画鋲を用いてマーキングをする。
4. ⑤位置出しシールを剥がす。

(2)仮組とプライマーの塗布



1. ①フロントスポイラー(以下スポイラーと省略）をフロントバンパーにかぶせ、フェンダーアーチ部取付け穴とマーキング位置を合わせ、フェンダーアーチの隙間を左右均等にし、ガムテープ等で仮固定をする。
2. 取り付け位置を決め、①スポイラーに貼り付けてあるエンドモールに合わせマスキングテープを貼り付ける。（左図参照）



脱脂及び⑥PACプライマーＮ２００
塗布範囲（斜線部）

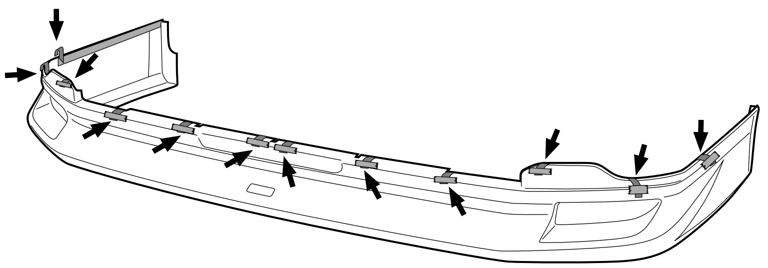
3. ①スポイラーを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を脱脂する。

4. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に⑥PACプライマーN200を塗布する。

アドバイス

- ⑥PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ⑥PACプライマーN200塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

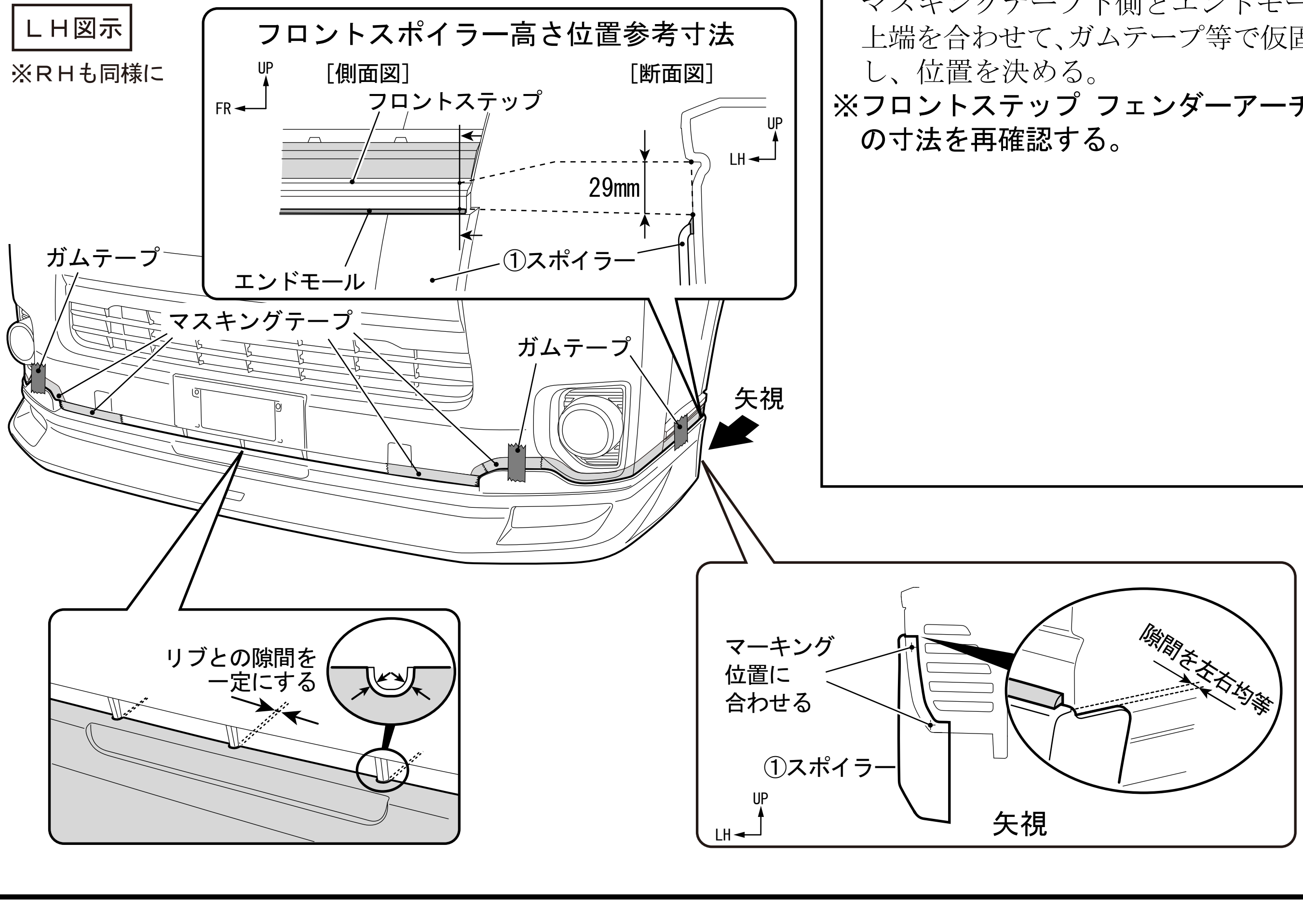
(3) 取付準備



1. ①スポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(4) 取り付け

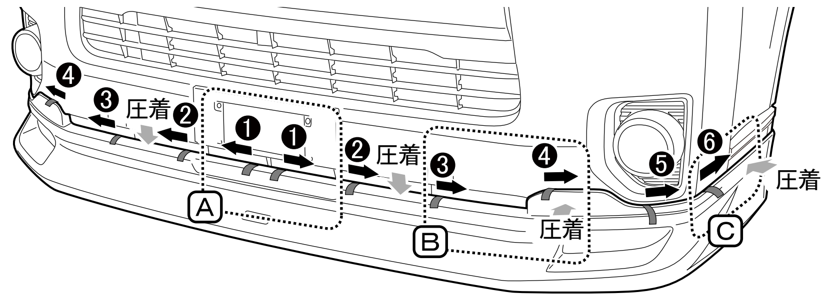
ＬＨ図示
※ＲＨも同様に

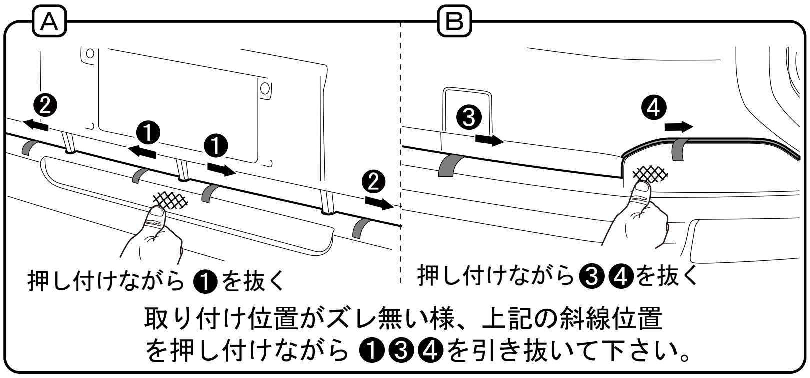


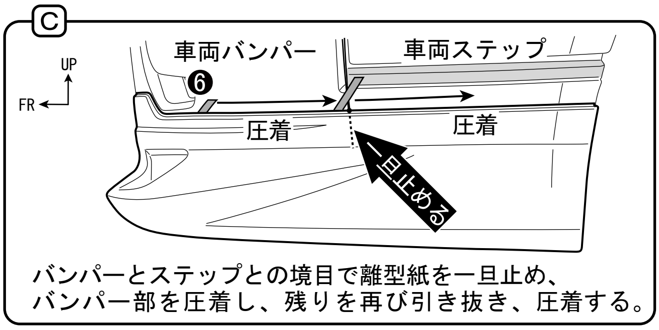
1. ①スポイラーを車両バンパーにかぶせ、マスキングテープ下側とエンドモール上端を合わせて､ガムテープ等で仮固定し、位置を決める。

※フロントステップ フェンダーアーチ部の寸法を再確認する。

※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）







2. 左右のバランス、隙、ズレが無い事を確認して❶から順に両面テープ離型紙を中央部から矢印の方向に引き抜き、圧着する。

※❶❸❹の離型紙を引き抜く際は①スポイラーのⒶⒷ部斜線位置を押し付けながら引き抜いて下さい。

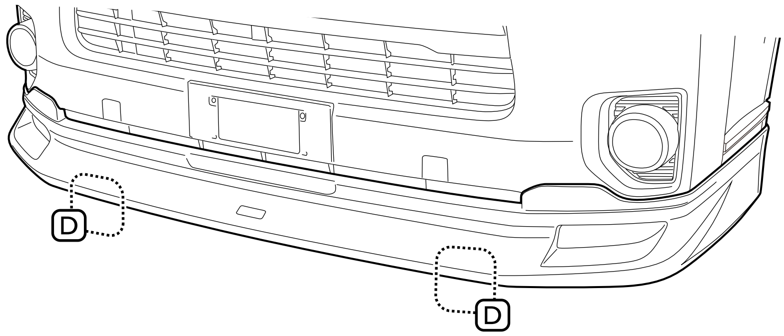
※❻の離型紙を引き抜く際は車両バンパーとステップの境目で一旦止め、バンパー部を圧着した後、残りの離型紙を引き抜いて圧着して下さい。

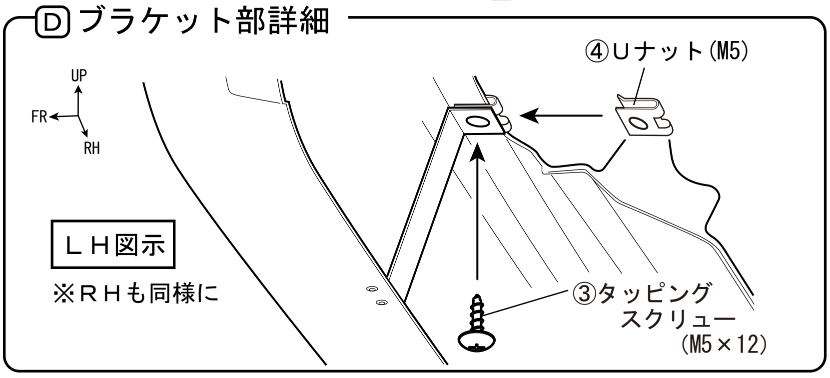
※離型紙を引き抜く際に、①スポイラーの取り付け高さ、隙間が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。バンパーに付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- 離型紙が途中で切れない様に、①スポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行なって下さい。

3. 全てのマスキングテープを剥がす。



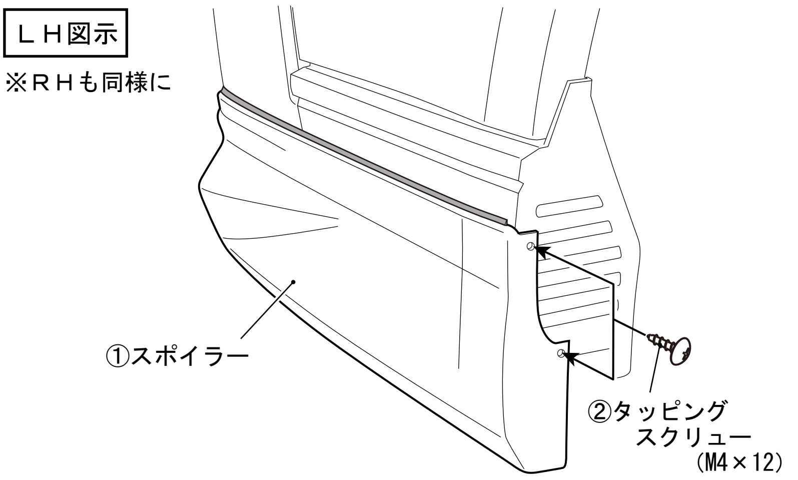


4. ④Uナット(M5)を①スポイラー下面のブラケット取付穴に合わせる様に車両バンパーに差し込み、取付穴の中心を車両バンパーにマーキングする。（左図参照）

5. 下面ブラケットの取付穴とマーキング位置を合わせ、③タッピングスクリュー(M5×12)で仮締めする。（左図参照）

アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋲を用いて行なって下さい。

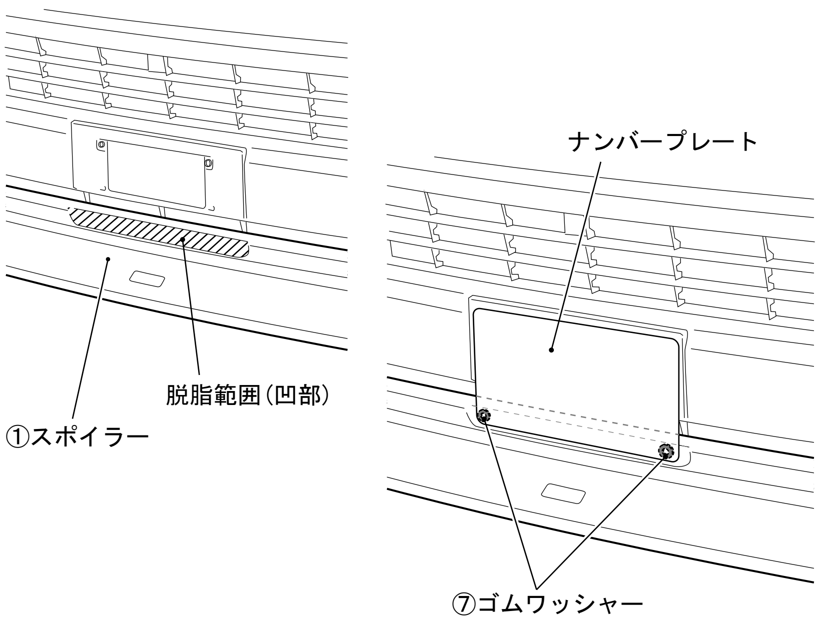


6. フェンダーアーチ部を②タッピングスクリュー(M4×12)で４箇所仮締めする。

アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋲を用いて行なって下さい。

7. 両面テープ貼り付け位置を**再圧着**する。



8. ①スポイラーのナンバープレート部(凹部)を脱脂する。

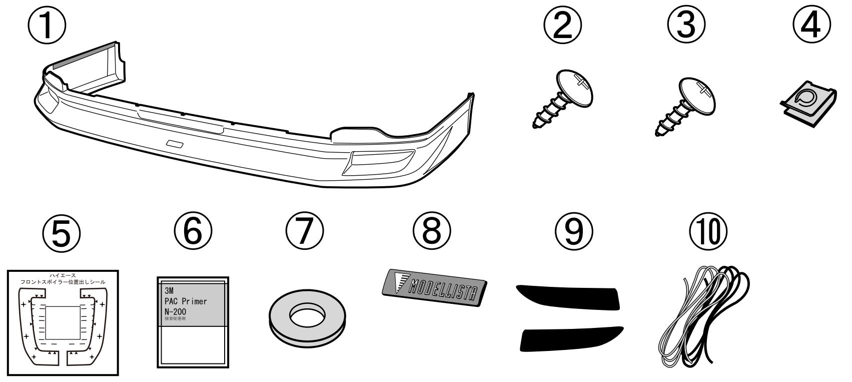
9. ナンバープレートで隠れる位置に⑦ゴムワッシャーを貼り付ける。（２箇所）

10. ナンバープレートを取り付ける。

11. 両面テープ貼り付け後、３時間以上放置してから仮締めを本締めする。（６箇所）

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品　　名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングスクリュー(M4×12)	4
③	タッピングスクリュー(M5×12)	2
④	Uナット（M5）	2
⑤	位置出しシール	1
⑥	PACプライマーＮ２００	1
⑦	ゴムワッシャー	2
⑧	エンブレム	1
⑨	ブラックアウトシール	1set
⑩	エンドモール（Ｓ）	ｸﾞﾚｰ:1 ﾌﾞﾗｯｸ:1

塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は＞ＡＢＳ＜です。

4. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず６０℃以下で乾燥させて下さい。

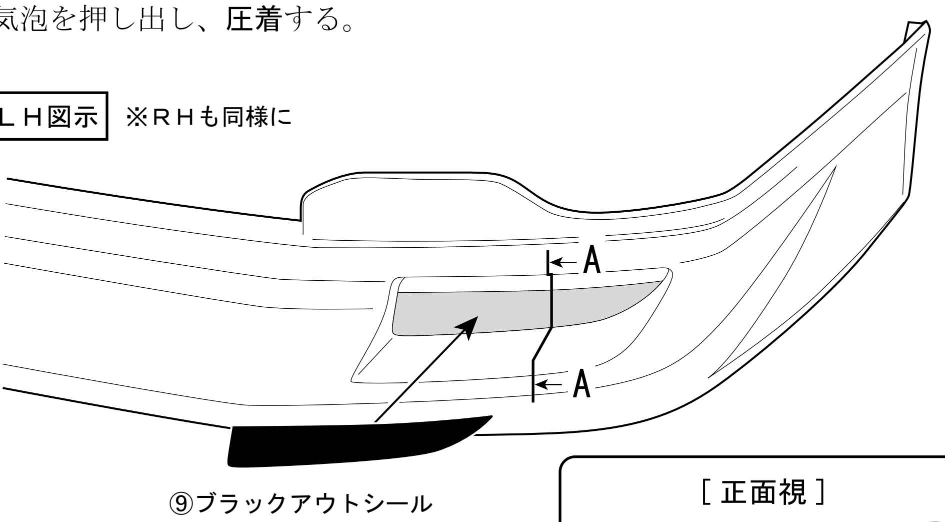
⑩エンドモール推奨使用色

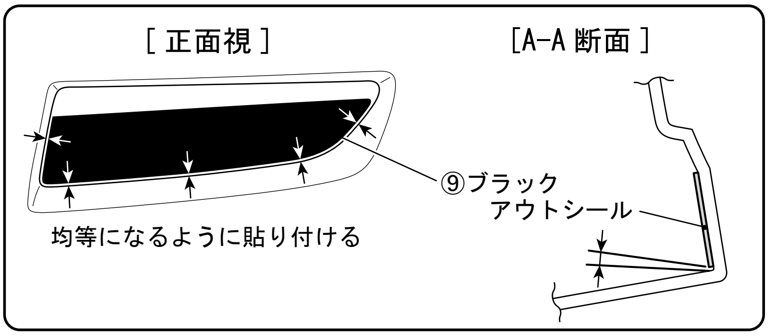
色番号	色 名 称	モール色
058	ホワイト	グレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	グレー
1E7	シルバーマイカメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	ブラック
599	ライトイエロー	グレー
8P4	ダークブルーマイカメタリック	ブラック

ブラックアウトシールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑨ブラックアウトシール（以下⑨シールと省略）を①フロントスポイラーのブラックアウトシール貼り付け部に仮合わせし、形状を確認する。
2. ①フロントスポイラーの凹部の汚れ、ゴミ、ホコリ等をウエスで取り除き、必ず脱脂する。
3. ⑨シールを①フロントスポイラーに合わせ、**左右と下側のバランスを確認**し、車両内側から外へ気泡を押し出し、**圧着**する。

ＬＨ図示　※ＲＨも同様に

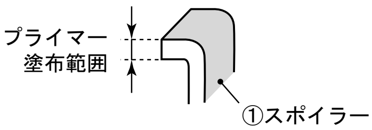




エンドモール・エンブレムの貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑩エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑥PACプライマーN200を塗布する。

PACプライマーN200塗布範囲



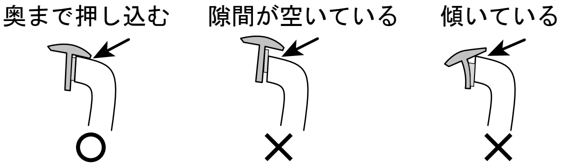
アドバイス

- ⑥PACプライマーN200は①スポイラー取り付け時に再使用します。
  揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑥PACプライマーN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、
  はみ出したプライマーは、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ⑥PACプライマーN200塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。

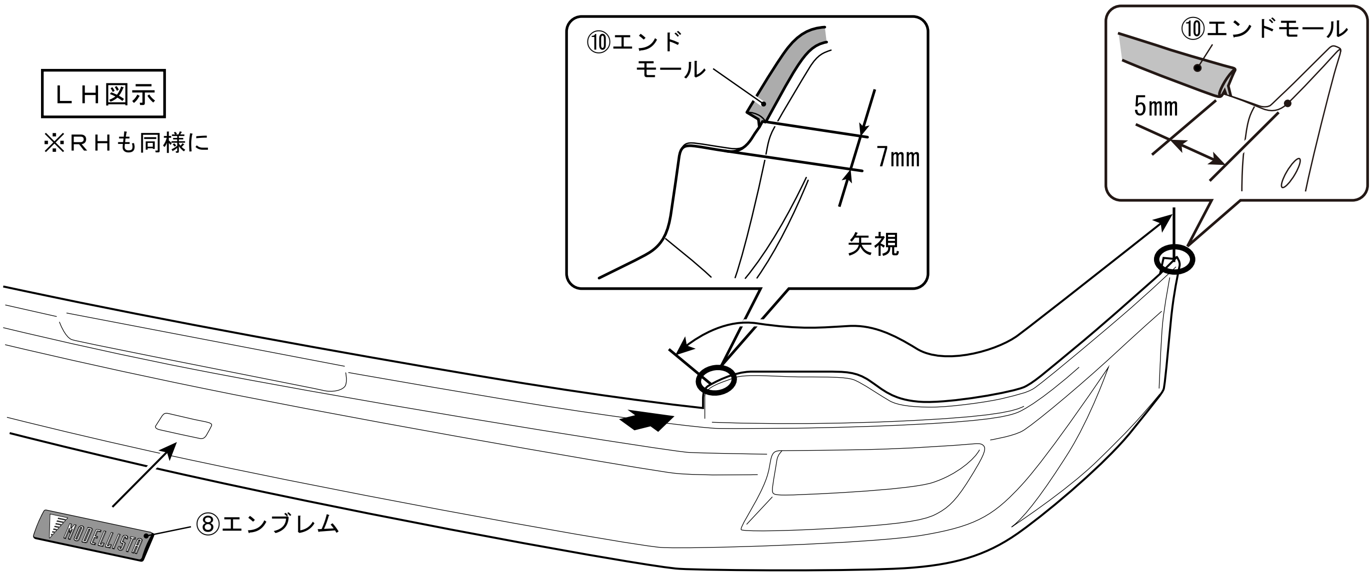
2. 下図の要領で⑩エンドモールを貼り付ける。

アドバイス

- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。**絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。**
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、充分に圧着して下さい。



ＬＨ図示
※ＲＨも同様に

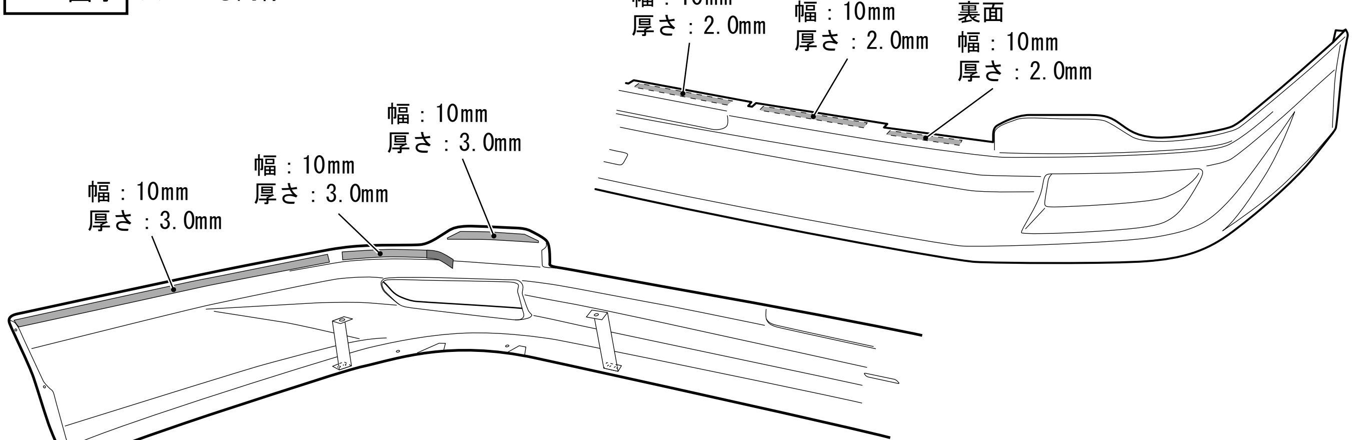


3. ①スポイラー中央のエンブレム貼付け部を脱脂し、
   ⑧エンブレムを貼り付ける。

補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用してフロントスポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

ＬＨ図示 ※ＲＨも同様に



脱脂作業要領書

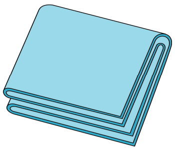
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

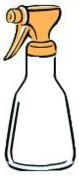
エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

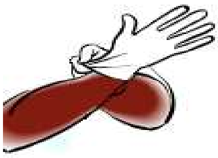
①エアロ取付準備・脱脂　　　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

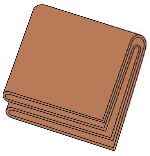
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

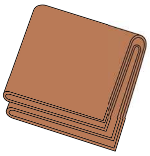
水拭き用バケツ

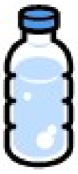

合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

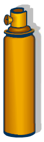

イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

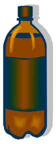
■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。
アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

使用禁止


ブレーキクリーナー
パーツクリーナー


ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

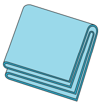
■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

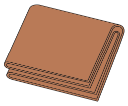
■ 脱脂作業要領

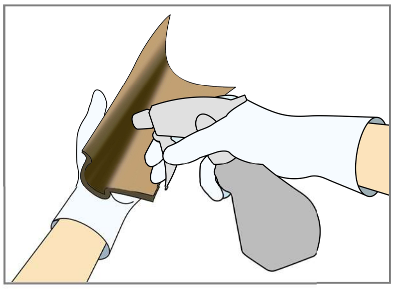
- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス



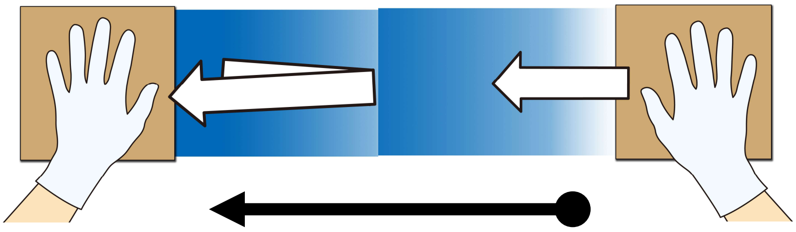
※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

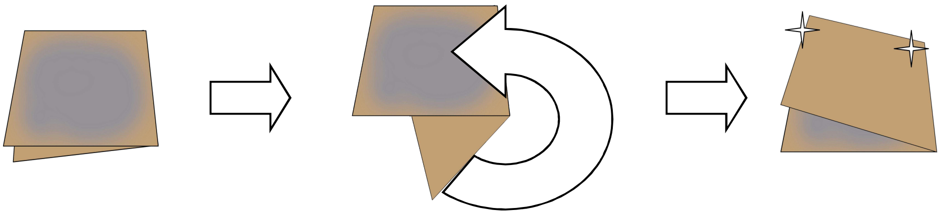
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。